

表3：因子分析とKJ法による構成概念の関係

	項目番号	因子負荷量	項目内容	KJ法による下位分類	KJ法による上位分類
第1因子	E-43	1.0150	見てなくても働く	<働ける>	E:生活の成長
	E-46	0.9585	仕事がきっちりできるようになる		
	E-44	0.9345	作業への集中力、継続力が向上す		
	E-52	0.6941	作業をまかせやすくなった		
	E-47	0.6610	作業のときおしゃべりが出なくなっ		
	E-49	0.6305	作業に行くことをいやがらなくなる		
	E-42	0.6279	粘り強く物事に取り組めるようにな		
	D-9	0.5453	作業の成果を喜ぶ	<できる・わかる>	D:自己評価の成長
	E-70	0.4111	率先して動けるようになる	<自発性が出る>	E:生活の成長
	E-51	0.3824	言われたらサッと動く	<働ける>	
	E-67	0.3736	時間を意識して動く	<自発性が出る>	
A-3	0.3214	他児童に意味のある(有効な)注意 や指示をする	<止められる>	A:耐える力の成長	
第2因子	C-19	0.9565	対人関係のとり方がうまくなる	<他児童との関係が改善する>	C:対人関係の成長
	C-18	0.8144	けんか、トラブルなどの問題行動が 減る		
	C-15	0.8114	生徒間の人間関係をうまくこなす		
	C-17	0.7265	他の児童とのトラブルを話し合いで 解決できる	<持ちこたえられる>	A:耐える力の成長
	A-21	0.4339	挑発に乗らない		
	C-36	0.3493	日常の中で他の子を見て褒めるこ とができる	<他の子をほめる>	C:対人関係の成長
第3因子	A-14	0.8086	嘘をつかなくなる	<自分の非を認める>	A:耐える力の成長
	A-19	0.7538	責任転嫁しなくなる		
	A-13	0.7367	素直に非を認める		
	B-8	0.4914	ごめんなさいと言える	<注意、指導をとりあえずきける>	B:コミュニケーションの成長
	B-19	0.3970	怒られている時に真剣になる	<場の状況・雰囲気を読む>	
	B-12	0.3833	叱られたことが入っていくようになる	<話が聞ける>	
第4因子	B-4	0.6676	言葉で自分の気持ちを表現でき るようになる	自分の気持ちを言葉で表現する	B:コミュニケーションの成長
	B-5	0.5397	日誌の内容が形式的なものから自 分の内面的、心理的なことについて 書くようになる		
	C-33	0.5378	困ったことや悩みなどを相談でき る	<人に相談できる>	C:対人関係の成長
	D-29	0.5353	親との関係を現実的に話せる	<自分を客観的に見られる>	D:自己評価の成長
	C-31	0.4018	人に頼ったり依存しながらも問題 を解決することができる、がまんでき るようになる	<人に相談できる>	C:対人関係の成長
	C-34	0.3897	人に愛着を持つことができる	<現実的な不安を持てる>	D:自己評価の成長
	D-31	0.3831	退所後への不安を示すようになる		
	D-22	0.3664	自分のことを客観的に語る	<自分を客観的に見られる>	
第5因子	E-18	0.7200	笑顔が見られるようになる	<子どもの顔に戻る>	E:生活の成長
	E-25	0.7148	表情、物腰、物言いが穏やかになる		
	E-21	0.6076	素直になる		
	E-16	0.4660	親、面会者が「子どもらしくなった」 「表情が変わった」と言う		
	E-15	0.3508	面会者が快く面会できる		
	D-11	0.3380	自分ができていることを見つける	<楽しめるものを持つことができ >	D:自己評価の成長
第6因子	A-27	0.8411	感情の興奮を自分で鎮めることが できる(回復できる)	<自分で回復できる>	A:耐える力の成長
	A-28	0.7429	気持ちが不安定になっても日課をこ なせる、あるいは早く日課に戻る		
	A-30	0.5339	自分の行動をコントロールする		
	A-29	0.4798	少しの失敗でいじけたり、すねたり しないようになる		
	C-35	0.4021	キレなくなる	<人に相談できる>	C:対人関係の成長

児童氏名(頭文字等で結構です)

評価者氏名

・半年前(入所後6ヶ月未満の場合は入所時)と比べて、当てはまる欄にチェックを入れてください。

A:耐える力の成長		もともとできていた	できるようになった	ややできるようになった	ややできていない	まったくできていない
<ルールを守る>						
A-1	ルールを守る					
<断れる>						
A-2	無断外出を相談されて断る					
<止められる>						
A-3	他児童に意味のある(有効な)注意や指示をする					
A-4	他児の無断外出を止めようとする					
<待つ>						
A-5	待つことができるようになる					
A-6	一年待てるようになる					
A-7	聞くことができるようになる					
A-8	欲求をすぐ満たそうとしない					
A-9	順番を守る					
<譲る>						
A-10	譲ることができるようになる					
A-11	「自分が～」ではなく、一歩引くことができる					
A-12	自分のことばかり主張しなくなる					
<自分の非を認める>						
A-13	素直に非を認める					
A-14	嘘をつかなくなる					
A-15	言い訳をしなくなる					
A-16	職員に説明されると自分の悪いところを認められるようになる					
A-17	事実をつきつけられても最後まで言い逃れをすることがなくなった					
A-18	過去の悪いことを「実は…」と打ち明ける					
A-19	責任転嫁しなくなる					
A-20	問題を起こしたときに自分から持ち出してくる					
<持ちこたえられる>						
A-21	挑発に乗らない					
A-22	自分の課題を意識して行動をセーブできる(例:一言多い子が一言控える努力をする)					
A-23	「こらえる」ことができるようになる					
A-24	自分のことについての悩みを抱えられる(すぐ行動で表さない)					
A-25	ストレス状況になった時、自分で解放(消化)できる術のようなものを身につける					
A-26	いじめられたけど逃げなかった					
<自分で回復できる>						
A-27	感情の興奮を自分で鎮めることができる(回復できる)					
A-28	気持ちが不安定になっても日課をこなせる、あるいは早く日課に戻れる					
A-29	少しの失敗でいじけたり、すねたりしないようになる					
A-30	自分の行動をコントロールする					

B:コミュニケーションの成長		もともと できてい た	できるよ うになっ た	ややでき るように なった	ややでき ていない	まったく できてい ない
<基本的な礼儀が身につく>						
B-1	挨拶ができる					
<相手の目を見て話ができる>						
B-2	相手の目を見て話ができる					
<自分の気持ちを言葉で表現する>						
B-3	相手に伝えようとする言い方ができるようになる					
B-4	言葉で自分の気持ちを表現できるようになる					
B-5	日誌の内容が形式的なものから自分の内面的、心理的なことについて書くようになる					
B-6	自分の思っていることを自分の言葉で話せる					
<注意、指導をとりあえずきける>						
B-7	注意、指導をとりあえずきける					
B-8	ごめんなさいと言える					
B-9	ありがとうと言える					
<話が聞ける>						
B-10	自分以外の考え方を受け入れられる					
B-11	人の話をきけるようになる					
B-12	叱られたことが入っていくようになる					
B-13	叱られても後腐れがない					
B-14	物事を自分の身におきかえて考えることができる					
<表情を読む>						
B-15	相手の感情に気づく					
B-16	表情を見る					
B-17	眼の会話が職員とできるようになった					
<場の状況・雰囲気を読む>						
B-18	人の失敗をフォローしてあげられる					
B-19	怒られている時に真剣になる					
B-20	人の話に強引に割り込まない					
B-21	職員がしたことを指示する前に察知して行動する					
B-22	まわりの空気を察知して、気を遣うことができるようになる					
B-23	人が叱られている時に笑わない					
B-24	「静かにしろ」という前に静かにする					
B-25	客が来たらスリッパを出す					
B-26	まわりがみえる					
<その場にふさわしい行動をとる>						
B-27	黙想中笑わなくなる					
B-28	気がつく(周囲を見て自分のやる事を見つけられ					
B-29	相手を決定的にキレさせなくなる					
B-30	外出時にガンをとばさない、トラブルを起こさない					
B-31	一般中学生相手に威嚇しない					
B-32	必要なとき他の児童を手伝う目配りをする					
B-33	お互いにかまえずコミュニケーションがとれる					
C:対人関係の成長		もともと できてい た	できるよ うになっ た	ややでき るように なった	ややでき ていない	まったく できてい ない
<被害意識を持たなくなる>						
C-1	「オレばかり」という意識がなくなる					
C-2	仕事を頼まれた時、「俺がですか?」「なんですか(何故自分に)?」と言わなくなる					
C-3	被害感が抜ける					
C-4	他児と同じ対応をしないと文句を言っていたのが、違った対応を受け入れるようになる					

<安心感を持つ>					
C-5	職員から見えないところに居た(居場所が不自然)のが、居場所が自然になる				
C-6	職員が目を離すことができるようになる				
C-7	なにができた、やれた、嬉しかったという話をする ことができる				
C-8	相手の目を見て話が聞けるようになる				
C-9	夜尿が止まる				
C-10	職員(自分にとって指示、命令する人)への態度が やわらかくなった				
C-11	職員によって来る(話し掛けてくる、近づいてくる)				
C-12	話がなくても職員の近くにいる				
C-13	職員との距離感が近くなった				
<他児童との関係が改善する>					
C-14	しつこいちょっかいをしなくなる(限度を知る)				
C-15	生徒間の人間関係をうまくこなす				
C-16	トラブルの対処がうまくなる				
C-17	他の児童とのトラブルを話し合いで解決できる				
C-18	けんか、トラブルなどの問題行動が減る				
C-19	対人関係のとり方がうまくなる				
<丁寧になる>					
C-20	日記などの文字をていねいに書くようになった				
<職員による態度の差がなくなる>					
C-21	職員によつての態度の違い(差)が小さくなった				
C-22	職員に敬語で冗談が言える				
C-23	職員と世間話ができる				
<職員と成熟した関係が持てる>					
C-24	世間話ができる				
C-25	敬語で冗談が言える				
C-26	職員に見せない自分を持てる				
<人の事を信用できる>					
C-27	自分の大事なものを貸せる				
C-28	弱みを見せられる				
C-29	自分のもの(例:食べ物)を公共の場(冷蔵庫など) に置いておくことができる				
<人に相談できる>					
C-30	人にSOSを出すことができる				
C-31	人に頼ったり依存しながらも問題を解決することが できる、がまんできるようになる				
C-32	特定の大人への依存感情を持つようになる				
C-33	困ったことや悩みなどを相談できる				
C-34	人に愛着を持つことができる				
C-35	キレなくなる				
<他の子をほめる>					
C-36	日常の中で他の子を見て褒めることができる				
<他児の話聞いてやれる>					
C-37	他児の話(悩み)を聞いてやれる				
<他児から評価を受ける>					
C-38	他児童に「あいつ変わった」と言われる				
C-39	他児童に「あいつは大丈夫だよ」と言われる				

D:自己評価の成長		もともと できてい た	できるよ うになっ た	ややでき るように なった	ややでき ていない	まったく できてい ない
<自己評価が改善する>						
D-1	「僕なんかどうなってもいいんだ」などの自己否定的な言動が少なくなる					
D-2	どうすればよくなりますか、自分のどんなところがよくなりましたか、などと訊くことができる					
D-3	「どうせ俺なんて」「なんで俺ばかり」と言わなくな					
D-4	むやみにため息をつかない					
<できる・わかる>						
D-5	主体的に、わかった、できたと言える					
D-6	勉強に興味を持つ					
D-7	授業を受けるのが楽しいと言う					
D-8	テストの点を気にするようになる					
D-9	作業の成果を喜ぶ					
D-10	クラブや作業に行くのを楽しむ					
<楽しめるものを持つことができる>						
D-11	自分ができることを見つける					
D-12	何をやっても楽しめる					
D-13	生活を楽しむ					
D-14	最初嫌がっていたことも、やっているうちに楽しむ					
D-15	自由時間の行動にバリエーションが増える					
D-16	一人でいられる					
<継続的に熱中できる>						
D-17	モチベーションが持てる					
D-18	一生懸命やる					
D-19	何かに熱中する					
D-20	来年もまたやろうという					
<一緒になって楽しめる>						
D-21	みんなで何かやる時、いっしょになって楽しめる					
<自分を客観的に見られる>						
D-22	自分のことを客観的に語れる					
D-23	予測ができる					
D-24	現実的になった					
D-25	物事を自分以外の視点から見ることができる					
D-26	自分の成長・進路を考えて、残って生活することを選ぶ					
D-27	自分の持つ不安に気づくことができる					
D-28	新入生などの行動を見て、昔は自分もこうでしたねと、振り返ることができるようになる					
D-29	親との関係を現実的に話せる					
D-30	入所したことや指導に対して不平不満を言わなくなった					
<現実的な不安を持てる>						
D-31	退所後への不安を示すようになる					
D-32	自分の問題(不安)に気付いて「どうしよう」と思う					
D-33	「大丈夫ッスカね」などと不安であるというサインを出せる					
<自分の現実を受け入れる>						
D-34	自分の境遇を受け入れる					

E:生活の成長		もともと できていた	できるよう になった	ややでき るように なった	ややでき ていない	まったく できてい ない
<生活のリズムができる>						
E-1	決まった時間に起きられる					
E-2	すっきり目覚める					
E-3	夜、眠くなる					
E-4	よく寝るようになる					
E-5	消灯後、早く寝る					
E-6	「もう寝ようぜ」と打ち切る					
E-7	起床時間が守れる					
E-8	盗み食いが止まる					
E-9	睡眠、食事、排泄が安定する					
E-10	生活のリズムに慣れた					
E-11	歯磨きをごまかさなくなる					
E-12	食事をゆっくり味わって食べるようになる					
E-13	食事が適量になった					
E-14	すばやく着替えることができる					
<子どもの顔に戻る>						
E-15	面会者が快く面会できる					
E-16	親、面会者が「子どもらしくなった」「表情が変わった」と言う					
E-17	声を出して笑う					
E-18	笑顔が見られるようになる					
E-19	かわいくなる					
E-20	幼くなる					
E-21	素直になる					
E-22	かわいくなった、めんこくなった					
E-23	見た目年齢が下がる					
E-24	いい笑顔だな、と職員が思える					
E-25	表情、物腰、物言いが穏やかになる					
E-26	表情が自然になる					
E-27	毒々しさがとれる					
E-28	表情がやわらかくなる					
<自然になる>						
E-29	無理がなくなる					
E-30	リラックスできる、している					
E-31	構えすぎない					
E-32	外見を気にしなくなった					
<ゆとりができる>						
E-33	最初は無理していたが、無理しなく普通になった					
E-34	居眠りができる					
E-35	畳の上に横になっけられる					
E-36	一人でリラックス、のんびりしてられる					
E-37	職員が何も言わずに隣にいても、その状態が持続できる。かまえなくなった。					
E-38	自然体、無理なく過ごせる					
<気力・体力がつく>						
E-39	急ぎ足で歩く					
E-40	コンスタントなタイムでランニングができるようになった					
E-41	重い物を持ち上げられる					
<働ける>						
E-42	粘り強く物事に取り組めるようになる					
E-43	見てなくても働く					
E-44	作業への集中力、継続力が向上する					
E-45	洗濯物をきれいにたためるようになる					
E-46	仕事がきっちりできるようになる					
E-47	作業のときおしゃべりが出なくなった					
E-48	つべこべ言わずに作業をやるようになる					
E-49	作業に行くことをいやがらなくなる					
E-50	隅々までこだわって掃除する					
E-51	言われたらサッと動く					

<まかせやすくなる>					
E-52	作業をまかせやすくなった				
E-53	ノコギリ等、刃物を扱うことができる				
E-54	帰省時に単独で往復できる				
E-55	帰省後に不安定にならない				
<きりっとする>					
E-56	きりっとしてきた				
<自発性が出る>					
E-57	資格や漢検などの合格を目指す				
E-58	自発的に自分の持ち物の手入れをする(「くつ洗っていい?」など)				
E-59	自分から目標を持つ				
E-60	ギターをはじめる				
E-61	自由時間に勉強する				
E-62	自分の畑をつくる				
E-63	「早く出たい」と言っていたのが「ここにいるのもいい、楽しい」と言い出す				
E-64	「今度施設を出たら～したい、～するようにするんだ」と自ら言う				
E-65	自分で目標をたてて努力する				
E-66	前向きさが出てくる				
E-67	時間を意識して動く				
E-68	「～しますか」「～持ってきますか」と自分で判断して、行動することができる				
E-69	他人の行動を見て、自分だったらと考えることができる				
E-70	率先して動けるようになる				
E-71	他人を手伝って集団の課題を終わらせようとする				
E-72	日課を早く終わらせて時間を作ろうとする				
E-73	クラブのキャプテンになりたがる				
<自分から言いに来る>					
E-74	自分から決めたことを言いに来る				
E-75	自分を開き始めた				
E-76	全然関係ないときに「俺逃げるのやめたから」「俺はこうするつもり」と言う				
E-77	自分から話を持ち出す				
<挑戦する>					
E-78	野山に分け入ることを好む				
E-79	職員の無理難題に敢えてチャレンジしようとする				
E-80	過年度受験を敢えて選ぶ				
E-81	もう1年いることにする				
E-82	生徒会などに立候補する				

児童氏名 (歳)(男・女)

評価者氏名

・半年前(入所後6ヶ月未満の場合は入所時)と比べて、
当てはまる欄にチェックを入れてください。

A:耐える力の成長		もともと できてい た	できるよ うになっ た	ややでき るように なった	ややでき ていない	まったく できてい ない
<ルールを守る>						
A-1	ルールを守れる					
<断れる>						
A-2	無断外出を相談されて断る					
<止められる>						
A-3	他児童に意味のある(有効な)注意や指示をする					
<待つ>						
A-7	聞くことができるようになる					
A-9	順番を守る					
<譲る>						
A-10	譲ることができるようになる					
A-12	自分のことばかり主張しなくなる					
<自分の非を認める>						
A-13	素直に非を認める					
A-14	嘘をつかなくなる					
A-19	責任転嫁しなくなる					
<持ちこたえられる>						
A-21	挑発に乗らない					
A-22	自分の課題を意識して行動をセーブできる(例:一言多い子が一言控える努力をする)					
<自分で回復できる>						
A-27	感情の興奮を自分で鎮めることができる(回復できる)					
A-28	気持ちが不安定になっても日課をこなせる、あるいは早く日課に戻る					
A-29	少しの失敗でいじけたり、すねたりしないようになる					
A-30	自分の行動をコントロールする					
B:コミュニケーションの成長		もともと できてい た	できるよ うになっ た	ややでき るように なった	ややでき ていない	まったく できてい ない
<基本的な礼儀が身につく>						
B-1	挨拶ができる					
<相手の目を見て話ができる>						
B-2	相手の目を見て話ができる					
<自分の気持ちを言葉で表現する>						
B-4	言葉で自分の気持ちを表現できるようになる					
B-5	日誌の内容が形式的なものから自分の内面的、心理的なことについて書くようになる					
<注意、指導をとりあえずきける>						
B-7	注意、指導をとりあえずきける					
B-8	ごめんなさいが言える					
B-9	ありがとうが言える					
<話が聞ける>						
B-10	自分以外の考え方を受け入れられる					
B-11	人の話をきけるようになる					
B-12	叱られたことが入っていくようになる					
B-14	物事を自分の身におきかえて考えることができる					

<表情を読む>						
B-15	相手の感情に気づく					
<場の状況・雰囲気を読む>						
B-19	怒られている時に真剣になる					
B-22	まわりの空気を察知して、気を遣うことができるようになる					
C:対人関係の成長		もともとできていた	できるようになった	ややできるようになった	ややできていない	まったくできていない
<被害意識を持たなくなる>						
C-1	「自分ばかり」という意識がなくなる					
C-2	仕事を頼まれた時、「俺(私)がですか?」「なんですか(何故自分に)?」と言わなくなる					
<安心感を持つ>						
C-6	職員が目を離すことができるようになる					
C-7	なにができた、やれた、嬉しかったという話をするができる					
<他児童との関係が改善する>						
C-15	生徒間の人間関係をうまくこなす					
C-17	他の児童とのトラブルを話し合いで解決できる					
C-18	けんか、トラブルなどの問題行動が減る					
C-19	対人関係のとり方がうまくなる					
<丁寧になる>						
C-20	日記などの文字をていねいに書くようになった					
<職員による態度の差がなくなる>						
C-21	職員によっての態度の違い(差)が小さくなった					
<人に相談できる>						
C-31	人に頼ったり依存しながらも問題を解決することができる、がまんできるようになる					
C-33	困ったことや悩みなどを相談できる					
C-34	人に愛着を持つことができる					
C-35	キレなくなる					
<他の子をほめる>						
C-36	日常の中で他の子を見て褒めることができる					
D:自己評価の成長		もともとできていた	できるようになった	ややできるようになった	ややできていない	まったくできていない
<できる・わかる>						
D-6	勉強に興味を持つ					
D-9	作業の成果を喜ぶ					
D-10	クラブや作業に行くのを楽しむ					
<楽しめるものを持つことができる>						
D-11	自分ができていることを見つける					
<継続的に熱中できる>						
D-18	一生懸命やる					
D-19	何かに熱中する					
<一緒になって楽しめる>						
D-21	みんなで何かやる時、いっしょになって楽しめる					
<自分を客観的に見られる>						
D-22	自分のことを客観的に語れる					
D-29	親との関係を現実的に話せる					
D-30	入所したことや指導に対して不平不満を言わなくなった					

<現実的な不安を持てる>						
D-31	退所後への不安を示すようになる					
<自分の現実を受け入れる>						
D-34	自分の境遇を受け入れる					
E:生活の成長		もともと できていた	できるよう になった	ややでき るようにな った	ややでき ていない	まったく できてい ない
<生活のリズムができる>						
E-1	決まった時間に起きられる					
E-9	睡眠、食事、排泄が安定する					
E-10	生活のリズムに慣れた					
<子どもの顔に戻る>						
E-15	面会者が快く面会できる					
E-16	親、面会者が「子どもらしくなった」「表情が変わった」と					
E-18	笑顔が見られるようになる					
E-21	素直になる					
E-25	表情、物腰、物言いが穏やかになる					
<働ける>						
E-42	粘り強く物事に取り組めるようになる					
E-43	見てなくても働く					
E-44	作業への集中力、継続力が向上する					
E-46	仕事がきっちりできるようになる					
E-47	作業のときおしゃべりが出なくなった					
E-49	作業に行くことをいやがらなくなる					
E-51	言われたらサッと動く					
<まかせやすくなる>						
E-52	作業をまかせやすくなった					
<自発性が出る>						
E-65	自分で目標をたてて努力する					
E-66	前向きさが出てくる					
E-67	時間を意識して動く					
E-68	「～しますか」「～持ってきますか」と自分で判断して、行動することができる					
E-70	率先して働けるようになる					

